

膝を突き合わせて 町の未来をともに創る―

いとだばた会議参加者の
皆さまだよ
詳しくは2～5ページへ



いとだばた 議会だよ

第50号

令和8年
6月定例会

令和8年8月発行
(2026年)

福岡県糸田町議会

- p 2 いとだばた会議
- p 6 一般質問(町政を問う)
- p 15 まちはどうなっちゃうと
- p 16 委員会審査



町民と語る

いとだばた会議

議会広報常任委員会主催



ご参加ありがとうございました!



糸田+井戸端会議で『いとだばた会議』だよ

を開催しました

町の今と未来について、町民と気軽に語り合う場『いとだばた会議』を開催。
町民と委員でテーブルを囲い、最初は緊張しつつも町を思う皆さまの熱いご意見をたくさんいただきました。

☆いとだばた会議って何？

議会広報委員会の活動報告（議会だよりの説明）の後に、班ごとに分かれてテーマをワークショップ形式でテーブルを囲いながら意見交換を実施。

メインテーマ『町を元気にするためには？』

小テーマ『移住、定住の促進について』『空き家対策』など

☆開催概要☆

- ▶ 日 時：5月22日(金) 午後6時～ ▶ 場 所：糸田町役場住民センター2階 第2・3研修室
- ▶ 参加者：委員6人(小嶋・森下・白銀・早麻・仲島・中原)、井手元議長(特別参加)
一般参加18人(21人申込み中3人欠席)



3班の内容は4ページへ!

各班での意見交換の様子と主な意見

※紙面の都合上、意見は抜粋したものととなります。

2班

意見まとめ



- 移住、定住促進
 - ・今実施している支援策を継続していただきたい。
 - ・空き家対策をセットにした対応も必要である。
- 空き家対策
 - ・優先順位をつけて対策をおこなってもらいたい。特に古いものを優先的に改善してもらいたい。
 - ・空き家等、町内の補助制度を回覧板等に掲載して分かりやすくしてもらいたい。
 - ・不動産相続の法整備を伴って積極的な介入が必要だと思う。
- その他
 - ・町民プールの跡地の有効活用。シャワー設備等を備えたRVパークにしてはどうか。
 - ・教育に力を入れてほしい。特に中学校も古いので、環境整備をしっかりとっていただきたい。
 - ・井上陽水館を建ててほしい。
 - ・町民に意見を求めるグーグルアンケート等を活用していただきたい。
 - ・教育、医療は人が集まるために必要である。
 - ・県外から移住してよかった、糸田町に来てよかった。

1班

意見まとめ



- ・ふるさと納税の返礼品として糸田町の祭りに無料バスを出したり、宿泊先を用意してはどうか。
- ・小・中学校を一貫校にしてはどうか。
- ・学校の体育館が古い。エアコン設置も含めて建て替えを検討してもらいたい。
- ・平成筑豊鉄道の線路が廃止になった場合の対処方法。
- ・公共交通の充実。
- ・タクシーを予約してもなかなか来てくれない。
- ・高校・大学と進学した後に糸田町に帰ってこない。
- ・町立病院の問題。
- ・町の財政状況はどうなっているのか。



Q3 今後もこのような広聴会に参加したいと思いますか

①ぜひ参加したい	8人
②機会があれば参加したい	7人
③あまり思わない	0人
未回答	1人
合 計	16人

Q4 町の課題で気になることがあれば教えてください

※次回以降の「テーマ」の参考にいたします。

- ・学校について、教育について。
- ・金山アジサイ園に人が集いやすいよう整備する。
- ・家庭の野焼き。
- ・人口減少。
- ・5月の祭りは町民全体の取り組みになっているのか？
- ・医療、町立病院。
- ・病院建設は当初の予算でできるでしょうか？
- ・病院問題については、皆が思っている。
- ・糸田町立病院の建て替えについて、意見したいと思っています。
- ・町職員、町議会議員の定数について問いたいです。
- ・広報誌等で知られていると思いますが、大きな課題については地域住民に説明がほしい。

Q5 その他ご意見・ご要望・ご感想があれば自由にお書きください

- ・年に2、3回開催してもらいたい。
- ・若い人が参加できる「いとだばた会議」にしていきたいです。
- ・企画、準備等ありがとうございました。
- ・ぜひ、続けていってください。
- ・日頃、近所の人としか会う機会がないのに新しい町の人と会えて話せたのは良かった。
- ・税金滞納対策を推進する。
- ・町は狭いので施設を集中して欲しい。コンパクトな町に将来的になって欲しい。
- ・財政再建に取り組むこと（抜本的な改革と実行）。豊かになれば人は集まる。トップにそのあたりを期待する。資料はVery good。

アンケート結果



Q1 本日の『いとだばた会議』はいかがでしたか

①大変良かった	8人
②良かった	8人
③普通	0人
④あまり良くなかった	0人
⑤良くなかった	0人
合 計	16人

理由

- ①大変良かった
- ・色々な声が聞くことができた。
 - ・多様な意見を伺うことができた。
 - ・多数から意見が聞かれた。
 - ・糸田町発展のために色々な意見がでたところ。
 - ・議員さん、町民、町立病院院長先生と話し合いが活発にできて良かったです。
 - ・議員と直接話し合うことは過去になかった。
 - ・議員の方々と交流を図ることができたので。

- ②良かった
- ・色々な意見が出て、参考になりました。議員からの説明もされ、良かったです。
 - ・初めての方々が多かったのですが話がしやすかったです。
 - ・多くの人の意見が聞けた。
 - ・たくさんの意見が聞けて楽しかったです。
 - ・議員との距離の近さを感じました。

Q2 意見を話しやすい雰囲気でしたか

①そうだった	12人
②普通	3人
③そうではなかった	0人
未回答	1人
合 計	16人

委員も各班に入っておしゃべり

1班



▲小嶋



▲仲島

3班



▲森下



▲中原

2班



▲白銀



▲早麻



▲井手元



いただいた意見はどうなるの？

いとだばた会議参加者の声として町長・執行部へ提出したよ



各班での意見交換の様子と主な意見

※紙面の都合上、意見は抜粋したものととなります。

意見まとめ

○移住、定住促進

- ・こどもや孫を学校に送迎する際に車両の駐車スペースがないので確保してもらいたい。

○空き家対策

- ・夏が暑く、こどもが外で遊べない。空き家を活用して居場所づくりにしてはどうか。また、こどもたちだけでは危険なので、ボランティアとして高齢者に来ていただいて、多世代交流をするのもいいのでは。
- ・放置したままにしないことが重要。
- ・近所にも空き家が数軒ある。相続人や所有者が空き家をどうしたいのか分からないので、明確にして対策をしてはどうか。

○その他

- ・町立病院は抜本的な改革が必要なのではないか。建てるか建てないのかはっきりしてもらいたい。
- ・糸田町のホームページ、特にスマートフォン版が見づらいので改善してもらいたい。子育て世帯が情報収集する際に見づらいと、移住先の候補として外れてしまう。
- ・広報誌は良くなっている。

3班





やま だ よういち
山田 陽一



動画はこちらから

町政を問う

問 全国的に空き家が
増加し課題になっ
ている。町には空き家バ
ンク登録制度があるが、
現在登録件数は0件。こ
れは改善の余地がある。
町内空き家は現在326

答 助成金制度を創
設し、空き家バ
ンクを活用し売買や賃
借契約をした双方に各
5万円。リフォーム費
用上限50万円、引っ越
し費用上限10万円を助

問 空き家の利活用と空き家 バンク登録について

答 助成金制度を創設
活用の促進を図る

件あり、所有者に十分な
周知をおこなえば利活
用できるのではないか。
先進自治体では、家財
の処分費や改修費、解体
費補助、移住支援金等を
出して成果を上げている
所もある。町の支援制度
はどのようなものがある
か。空き家が存在する一
方で、子育て世代、若者
世代の住宅の確保も重要
と考える。空き家を問題
ではなく資源として考え
れば人口減少対策にもつ
ながると思うが、利活用
をどのように進めていく
のか。

問 本計画が議会議決
された当時と比較
して、現在建設資材価
格や人件費高騰、エネ
ルギー価格の上昇など、
社会経済情勢が大きく変
化している中、建設費や
維持管理費にどのような
変化が生じるか。事業費
の増額が見込まれるが財
源はどのように確保する
考えか。将来的な財政負
担の影響についてどのよ
うな試算をしているか。
病院建設にお金をつぎ
込むことで、他の所に大
きな影響が出て、今でき
ている事業等がでなくな
り、住民の負担、利便

答 大きく見直す予定はないが
可能性は否定しない

問 病院建設計画の見直 しについて

答 空き家利活用
は、人口減少の
成し、空き家活用の促
進を図っている。

中で喫緊の課題と思っ
ている。新たに移住者住宅
補助金を創設した。でき
るだけ補助金を活用し、
進めていきたい。

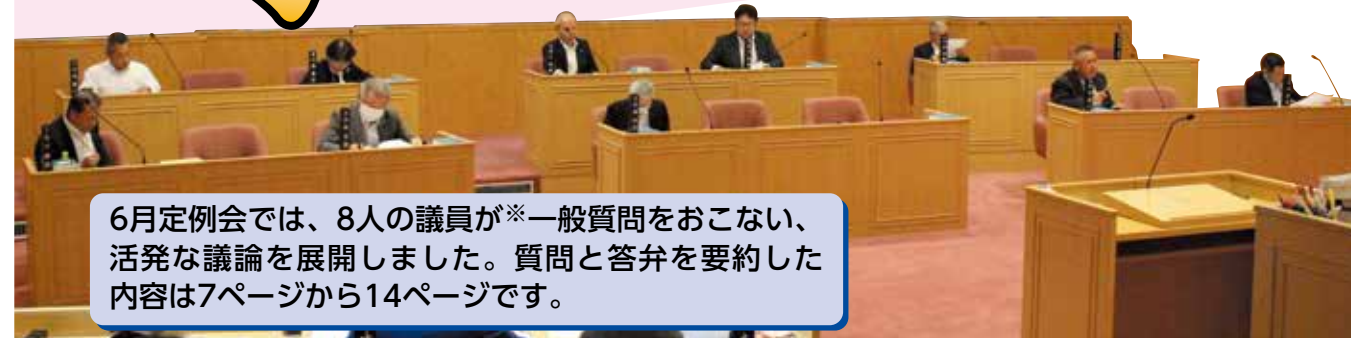
性が悪くなるばかり。病
院建設計画を今見直す時
ではないか。

答 物価高騰の関係
で、実施設計が
終わってない。7月末を
めどに設計価格が出る予
定。まだ明確に答えられ
ない。

答 建設費の高騰は
と理解している。町の
財政健全化も含めて、
負担があった時に、どう
しのいでいくか、どう
返済していくか議論し
なければならぬ。物
価の問題等があるが、基
本計画は大きく見直す
予定はないが、可能性
は否定しない。



町政を問う!!



6月定例会では、8人の議員が※一般質問をおこない、
活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した
内容は7ページから14ページです。

中原 詔蔵 (11ページ)

- 農道拡張問題の進捗
状況について問う
- 老朽化された公民館の耐震調査の実施について
- 中学校の校舎耐力度(耐震) 調査の実施に
ついて問う。



山田 陽一 (7ページ)

- 空き家の利活用と空き家バンク
登録について
- 病院建設計画の見直しについて
- 町指定のごみ袋が今後も確保できるか。
不足でごみが出せない事にならないか。
- 宮床の危険なブロック塀の撤去対策は。



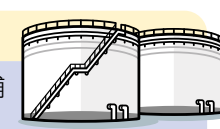
森下 喬廣 (12ページ)

- 稼ぐ役場への構造変革
- 人権推進課において総務課長による兼務の
理由は



松瀬 征行 (8ページ)

- 来年春の町長選挙に立候補
の進退を問う
- 中東石油危機で新病院建設基本計画の変更は



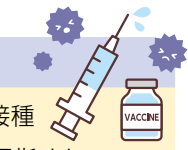
仲島 誠一 (13ページ)

- ランドセル型軽量リュック配布できないか
- 老朽化している校舎
体育館等の建て替え



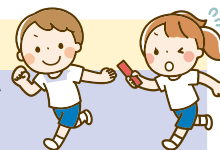
小嶋 康子 (9ページ)

- 高齢者のRSウイルスワクチン接種
- どのような役割を持つ病院を目指すか



木下 智康 (10ページ)

- 体育会における来賓席など
の在り方
- こどもの居場所づくりと相談体制
- 次の世代に負担が残らないかなど新病院建設
に対し、多くの町民が不安を感じる。
- 水道料金滞納者への対応。
- 町民事情を把握し、徴収に配慮をおこなえ
ないか。



白銀 秀樹 (14ページ)

- 糸田町内のし尿処理運搬
許可に関する訴訟について
- 宮床団地内空き地駐車場化の具体的な取り組
みと進捗状況について問う。
- 二田水病院前の横断歩道設置。
- スーパー川食前の横断歩道設置。



※一般質問／

議員が町の行政全般について、質問、政策提言をおこないます。糸田町議会は、一人50分以内で
おこない、議会だよりには、各議員が要約したものを掲載しています。

執行部

総務課 防災管財課 税務町民課 地域振興課 人権推進課 教務課 健康福祉課
子育て支援課 建築課 土木課 町立緑ヶ丘病院

一般質問

各ページに掲載
している二次元
コードから、一
般質問を動画で
視聴できるよ





こじま やすこ
小嶋 康子



動画はこちらから

町政を問う

問 RSウイルス感染症は、高齢者にとっては肺炎など重症化のリスクが高い。接種費用が高額である。高齢者の命と健康を守るため、感染症の現状認識と公費助成を含めた今後の対応を問う。

問 高齢者のRSウイルスワクチン接種

答 感染予防、ワクチンの種類など周知を図る

答 RSウイルスは年齢問わず乳幼児から高齢者まで幅広い年代に感染する。多くは風邪のような症状で、場合によっては、特に乳幼児と高齢者で重症化しやすいことが特徴。現在国内で承認されているRSワクチンは2種類。妊婦が接種することで、生まれてくる赤ちゃんに免疫を与える母子免疫ワクチン。国は令和8年4月から定期接種を実施。これ以外のRSウイルスワクチンで任意接種として希望者の接種金額は3万円程度。感染予防、ワクチンの種類など町広報誌やLINEの活用、各年代

問 近隣に医療機関がある中で、町立病院は本当に必要かという声もある。急性期の治療を終えた後の回復期医療やリハビリ、さらには在宅復帰に向けた支援、訪問診療の充実、地域に根差した医療の役割は今後重要になると私は考えるが、病院建て替えにあたり、今後の医療体制などの計画の進捗状況、財政も含め完成予定を問う。

答 医療と介護の提供、地域包括ケアシステム

問 どのような役割を持つ病院を目指すか

答 国の動向、医学的知見の蓄積、

に応じた場での情報提供で周知を図る。

答 田川市立病院と田川病院は300床規模の病院で、急性期の患者を受け入れ、手術などをして回復させ自院で治療が完結。町立病院は地域密着型でネットワークが強く、どこでも訪問するなど、町立病院の必要性を高めていく努力を始めている。高齢者救急―体調が悪くなった高齢者を受け入れた後に、早急な医療、リハビリの提供、生



▲ 新病院完成予定イメージ

活の質をできるだけ落とさず在宅や施設に移行、訪問診療で見守り、何かあった時に入院させる。このサイクルが地域包括ケアシステム。7月をめどに建設単価高騰も加味した積算が終わり、入札実施年明け契約、2月着工計画で進めたい。



まつ せまさゆき
松瀬 征行



動画はこちらから

町政を問う

問 来年春の町長選挙に立候補の進退を問う

答 現時点で白紙の状態

問 町の発展のリーダーに関し、統一地方選挙関連で町長の立候補を問う。

答 町長 病院建設など大きな課題がある。任期をまっとうしていきたい。現時点でまったく白紙の状態。

問 中東石油危機で新病院建設基本計画の変更は

答 来年2月頃施工に入りたい計画は今の段階で変更なし

問 さらに地域医療を担う新町立病院に向かって病院の整備基本計画を問う。
中東危機の影響で石油関連品の不足が生じている。病院建設に関係がある断熱材など建設資材の不足や医療用手袋など医療関係の材料・機材が不

足し、コスト上昇が指摘されている。基本計画の当初計画では、建設費など総額32億5千万円は35億7千万円に増額。建設スケジュールは当初計画、令和10年3月頃の開院予定が変更されて、令和10年11月開院を予定している。
建設資材・医療機材の不足とともに関係材料の価格高騰・値上げで、建設・建設スケジュールのさらなる変更や見直しが起こり整備基本計画の再検討が生じるのではないか！

答 町長 基本計画の核となるものは今のところ変更する予定はない。中東紛争等の影響もあり、資材の高騰も考えられる。現時点で建設価格について把握していないが、変更の可能性は否定しない。
現時点では今の状況で、基本計画に変わ



▲ 町立緑ヶ丘病院



なかはら しょうぞう
中原 詔蔵



動画はこちら

町政を問う



▲ 糸田町の水田(7月撮影)

これも質問

問 中学校の校舎耐力度(耐震)調査の実施について問う。

答 令和6年3月整備基本構想という事で動いているので今すぐの耐震調査は難しい。

問 農道拡張問題の進捗状況について問う

答 再度財政当局と協議したいと考えている

問 日本の人口減少が深刻な問題として語られており、農業は国の基本でもあり、糸田町も基幹産業の一つである。

深層な問題として語られており、農業は国の基本でもあり、糸田町も基幹産業の一つである。

答 農業委員会より要望が上がったのが令和6年12月であり、町と協議し事業化に向けた検討に値するか、予算の関係、補助金の関係とかの資料の収集を始めたが、補助金の要件が様々あり、県の単独事業しかなかった。その要件の中に延長の制限、農道に接続する一般道の制限があり、飯塚農林のほう

る。今日では農業機械が大型になり、農道が使用できないとのことで、糸田町農業委員会より7箇所の農道拡張問題が提言されていると思う。この問題の進捗状況を問う。

に要件をただしたら、本庁と話しをさせてくれというのだが、いまだに回答がないということ。再度問合せしている。それから対象農道に対して地権者の同意書を出したが、土地を調べる中で名義が変わっていない部分があり、今所有者が全地権者と話しを進めている状況であり、この2点が整ったら、再度実施の検討が可能か財政当局と協議したいと考えている。

答 総合的に判断し対策を検討していく

問 老朽化された公民館の耐震調査の実施について

問 地域の公民館および集会所は、糸田町総合計画にも述べられているように、コミュニティ活動の中心となる場でもある。糸田町において36箇所地区公民館および集会所が設置されている。そして50年以上経過した公民館および集会所が8箇所である。また2階建ての公民館および集会所が5施設である。

大規模な施設は法令により、耐震診断が義務づけられているとの事であるが、これは対象になら

答 各地区の集会所等について、耐震診断の法令義務がないため実施をしていないが、経年劣化により老朽化が進んでいる施設があることは認識している。

老朽化が進んでいる施設については、近隣自治体の取り組み状況も確認しながら総合的に判断し、対策を検討していく。



きのした ともやす
木下 智康



動画はこちら

町政を問う



▲ 中学校体育会の風景

問 体育会における来賓席などの在り方

答 学校とPTAが協議して設けられている

問 体育会は、こどもたちの日頃の努力や成長を保護者や地域の皆さんに見ていただく大切な行事である。しかし、多くの学校ではグラウンド中央、最も見やすい所に来賓席が設置されていて、保護者の中には、なぜ主役であるこどもの保護者より来賓席が優先されるのかという事を聞いている。

答 PTA総会などの場で、せっかく年に1回総会という場所に、皆さんが意見を言う場所であるにも関わらず、保護者の方々が集まらない。ぜひ保護者の立場から言っていたらと大変ありがたい。保護者優先の観覧環境を整備する考えは学校とPTAが協議されて、どのような形にするかということ。教育委員会に良い方向であれば、了承していきたいと思う。

問 こどもの居場所づくりと相談体制

答 環境整備をしていきたいと考えている

問 いじめや不登校、家庭環境、人間関係などの悩みを抱えるこどもが、担任や学校の先生以外にも相談できる体制は整備されているか。

いるか。また活用状況や相談窓口の存在を十分に認識しているか。

答 安心して居場所と自分を認めてくれる大人が必要だと私は思う。こどもたちが糸田で育って良かった。保護者の皆さんが糸田で子育てして良かったという町を目指すべきだと考える。

答 安心して勉強し、健やかに成長するような環境整備をする。大人の務めだと思っている。行政も含め皆さんと協力しながら、こどもたちの居場所づくり等について整備をしていきたいと考えている。

これも質問

問 次の世代に負担が残らないかなど新病院建設に対し、多くの町民が不安を感じる。

答 7月末に積算が終わり、施工業者、設計会社、施工主(町)の3者で住民説明会を開きたい。

問 水道料金滞納者への対応。

答 毅然たる態度で徴収を進めていく。

問 町民事情を把握し、徴収に配慮をおこなえないか。

答 厳しい形になるが理解いただきたい。

問 こどもたちは糸田町の未来であり、



なかしま せいいち
仲島 誠一



動画はこちらから

問 ランドセル型軽量リュック 配布できないか

答 要望が入ってきていない
今の段階で考えていない

問 ランドセル症候群
という言葉がある。成長期の子どもに身体影響、学習意欲、生活全般の質にまで影響をお

問 通学かばんは小学校生活6年間をと
もにする大切なパート

答 問題になっ
ている事は心配して
いた。毎日こどもたちと
話しをするが、ランドセ
ルの中身が重たいと感じ
ている子がほばいない。
ランドセル業界として
も、かなり進歩して身体
に合った形で肩に重みが
こない。6年間もつ耐久
性があり年々進化して
いる。
荷物について学校と
協議していきたい。

よぼす。この要旨につ
いて問う。



答 ランドセル症候
群という懸念が
大きいとか、保護者の声
が大きければ交付金の中
で、給付金の中で、祝い
金の中で対応していく事
は可能かと思うが、私に
そこまでの要望が入って
きていない。今の段階で
は考えていない。

ナー。ランドセル型軽
量リュックは軽さだけでな
く、6年間安心して使い
続けるための機能性があ
る。特に今、物価高騰で
苦しい中の対策になると
思うので、経済的負担軽
減と入学祝いとして無償
配布できないか。

答 一貫校のメリッ
トも大きいもの
があると思う。決し
て否定するものではな
い。土地の問題もある。
近接した小中であるとい
う事を考えて、今のところ一貫校というのは考え

問 小中一貫校にする
事は、中長期的な
予算削減において非常に
有効な選択肢となる。建
築資材や工事費、維持コ
ストとして光熱水費、メ
ンテ費の削減等、財政負
担がかなり軽くなる。
「いとだばた会議」で
町民の方から一貫校の事
を聞かれた。検討はして
いるか。

答 今のところ一貫校というの
は考えていない

ていない。

問 老朽化で雨漏り、
トイレの問題等、
補修計画があるか。

答 建て替えとい
う大命題が将来控
えている中で、時期が定
まっていない状況。緊急
的な箇所を見て日々の対
応とする。

答 小・中学校体育
館については、
来年、再来年という明言
は出来ないが、出来るだ
け早い時期に、こういう
猛暑の時期を迎えている
ので、体育館については
考えていきたい。



もりした たかひろ
森下 喬廣



動画はこちらから

問 稼ぐ役場への構造変革

答 稼げる役場として少しでも
意識変革していく
と考えるが。

問 既存資産を活用し
た広告ビジネスに
ついて、全庁横断での導
入の考えがあるか。

答 ホームペー
ジのバナー広告につ
いては、条例の改正な
ど必要な事務処理に
着手し、広告収入を得
ることで自主財源の確
保を図る。

問 この土地をどう活
用できるかを民間
に直接問いかけるサ
ウンディング型市場調
査を実施して、現実的
な需要を掘り起こすべ
き

問 地域おこし協力隊
を最大限に利用
し、ふるさと納税専用
マーケットとして招聘
する考えはあるか。

答 確かにメリッ
トも大きいですが、成

答 サウンディング
型市場調査は、
民間のニーズや参入意
向を早期に把握できる
ほか、現実的な事業計
画の検討などにつながる
ことから、有効な手法
であると考えている。

問 人権推進課において 総務課長による兼務の 理由は

答 全体と協議した中で総務課長が
兼務が一番という結論



▲ 糸田町役場

果指標をどうするかとい
う課題もあるので、原課
に検討させながら研究し
ていきたい。

問 町民に対し、人権
推進課の体制がド
ラスティックに変貌した
事実、実質的な体制縮小
の全容を正確に伝えない
掲載基準にした合理的理
由等、情報公開の公平性
について伺う。

答 紙面の都合上、
すべてを載せる
というわけにはいか
ないので、対象を絞
って掲載をしてい
る。情報公開の
公平性については、
様々な意見がある
ので、今後の事務
の参考にさせてい
ただきたい。

問 総務課長に負担が
集中し、他の管理
職は名ばかりの形骸化
したものにすると考
えるが、この組織運
営上の弊害をどのよ
うに認識されている
のか。

答 すべての施策は、
人権問題が根底

問 総務課長一人で足
りるという理屈は、
当時の判断が間違っ
たと認めることになる
のではないか。

答 人権はすべての
施策の根底に横
たわるものである
ので、人権推進課を
設置した。私なりに
役場全体の適正な
ことを考える。人事
異動は将来構想も考
えながらおこなって
いる。決して機構改
革に矛盾している
ものではない。

まちは どうなっちゃうと



町内の現在の姿をお届けするコーナー。今回は町道の安全対策についてピックアップ。

道路の交通安全対策実施箇所

宮川・稗田線

通学路として安全を促すために路面表示を設置。



▲ 皆添橋側



▲ 糸田橋側

宮床・桜谷線

車両のスピードを抑制するため、ハンプ(路面の凸部)を7月中旬に設置予定。



▲ 予定箇所



▲ 貴船行政区のハンプ (参考写真)



今後の安全対策の予定は？

上糸田・下糸田線(旧役場前の道路) グリーンベルトの引き直しを予定

議員定数等調査特別委員会

■委員長：白銀 副委員長：木下
■委員：正・副委員長以外の議員10人

糸田町の未来を考え、議員定数や報酬について調査・研究を目的として、令和6年第1回定例会において設置された議員定数等調査特別委員会。

今定例会中に開催された委員会で結論を出し、目的を達成したことから解散となった。

約2年間の主な活動内容

- ・委員会の開催(全11回)
- ・添田町、香春町議会へ視察
- ・行政区長会との意見交換会で委員会の概要報告
- ・行政区長会から定数削減の要望書を受理

委員会内で出た意見

- ・町民から議員の数が多いという声も聞く。
- ・参考として町民にアンケート調査してはどうか。
- ・議員がどのような活動をしているのか知らない町民が多いので、削減を求める声も多くなる。もっと議員の活動をアピールするべき。
- ・議員報酬を減額して定数を増やせば民意が反映されやすいのでは。
- ・定数を削減すると、委員会構成等の問題も発生する。
- ・町のことを考えて新たに立候補する人たちにとっての環境づくりも大事。 など

調査の結果

今回は議員定数のみに焦点を絞って結論を出すとして、最終的に採決を実施した結果

現状維持7人、定数削減が4人(委員長含まず)で
現状維持の12人と決定した。

各委員の意見					
白銀 (採決に含まない)	木下	削減	谷口	現状維持	
松瀬	現状維持	早麻	削減	仲島	現状維持
竹田	現状維持	山田	削減	小嶋	現状維持
森下	削減	中原	現状維持	井手元	現状維持

委員会報告(要約・抜粋)

約2年間にわたり11回の委員会を開催し、町の現状や他町議会の事例、住民からの要望などを踏まえ、議員定数について慎重に調査・検討をおこなった。その結果、議会機能や民意の反映を総合的に判断し、現行定数12人を維持することが適当であるとの結論に至った。

糸田町内のし尿処理 運搬許可に関する訴訟について

裁判の経過を注視しながら 今後も検討していく

問 町内業者が令和6年度の許可について、糸田町に対して国家賠償請求の訴訟を起こしている。令和7年度の許可は、我々糸田町議会と糸田町の要請に添えて、広域組合に区域を追加してもらっている。我々も町内業者を守りたい思いが強くある。

答 令和6年度の許可について、町内業者から広域組合と糸田町が訴えられている。糸田町が訴えられた理由は、住民周知のために回覧したものが、共同不法行為にあたるという理由で、現在も訴訟が継続している。

問 広域組合議会でも一般質問した際に、町内業者が不十分な点検をおこなっていたことがあったという点があった。

これも

質問

問 二田水病院前の横断歩道設置。

答 設置基準を満たしていないため、新設は困難である。

問 スーパー川食前の横断歩道設置。

答 設置候補箇所を3箇所に絞り込み、県警本部において、設置に向けた協議が前向きに進められている。

問 宮床団地内空き地駐車場化の具体的な取り組みと進捗状況について問う。

答 来客用の確保、無断駐車への対策、コインパーキングの設置など管理会社と協議を重ね取り組んでいる。

答 確かに訴訟関係にある事は事実だが、し尿処理収集運搬については、住民生活に直結することで訴訟係争中の一事をもって許可を出さないという事は考えにくい。

問 他業者と比べて、料金が高額であることについて。

答 広域組合の資料により、他地域の業者より高い金額である事は聞いていますが、保守点検内容など細かな内容は把握していないので、どのような対応ができるか、今後広域組合と協議していく。



▲ 田川地区クリーンセンター

問 平準化に伴う区域割り。

答 田川地区の人口減少を考えれば必要なことである。



しろがね ひで き
白銀 秀樹



動画はこちらから

町政を問う

総務文教振興常任委員会

審査・調査対象の課：総務課・防災管財課・税務町民課・地域振興課・人権推進課・教務課
委員長：中原 副委員長：早麻
委員：山田・小嶋・木下・井手元

(専決処分) 糸田町税条例の一部を 改正する条例

税務町民課

説明 法律の改正により、条例の一部を改正するもの。

主な改正内容

①固定資産税の免税点を見直し

※令和9年4月1日施行

物価上昇を踏まえ、固定資産税が課税されない課税標準額を、家屋は20万円から30万円、償却資産は150万円から180万円に引き上げる。なお、土地は30万円のままとする。

②軽自動車税環境性能割を廃止

軽自動車の燃費性能等に応じて、自動車の取得時に課されていた税金で、制度の見直しに伴い、令和8年4月1日から軽自動車税環境性能割が廃止となった。



水田・農業補助金関係

地域振興課

説明 県の補助金を活用し、認定農業者が導入する農業用機械の購入費用等の一部を助成するための費用。各事業、認定農業者が1名ずつ利用している。

①水田農業担い手機械導入支援事業費補助金

約124万円

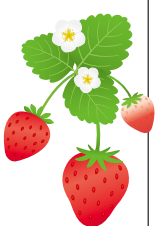
田植機を購入するため費用。



②福岡県園芸農業等総合対策事業費補助金

約1,429万円

あまおう生産力強化集中支援事業に係る補助金で、土耕栽培から高設栽培施設への転換に要するための費用。



③水田農業DX推進事業費補助金

約272万円

生産管理の効率化や省力化を目指す担い手に対し、スマート農業機械の導入を支援。今回は自動操舵システム田植機の購入費用。

糸田アリーナの設置及び 管理に関する条例の一部を 改正する条例

教務課

説明 糸田アリーナ駐車場をイベント開催時に有料で貸し出すため、新たに規定を設けるもの。貸出料金は一区画(6㎡以内)で1,800円となる。

Q 詳細な運用方法は決まっているか。

A 今後、運用規則等で定めていく。

※貸し出し等の条件の詳細は教務課社会教育係へ(電話番号：26-0038)



学校給食材料購入費 約39万円

教務課

説明 県の補助金を活用した県産ブランド食材による食育推進事業の実施に伴う費用。今回は博多和牛を使用予定。



桃山地区土地建物売払収入 482万円

防災管財課

説明 桃山地区の旧水防倉庫跡地を売却した際に収入となった金額。収入分は財政調整基金への積立てとなる。

要望 糸田町には他にも未利用地があるので、適正な価格を調査した上で売却を進めてもらいたい。



戸石グランド整備費 (工事・監理業務等) 約2億3,875万円

教務課

説明 町民グランドの代替地として戸石グランドを整備するために係る工事等の費用。町民グランド同様に野球・ソフトボールにも使用できるが、ナイター設備は設置しない。

反対意見 町立緑ヶ丘病院の建て替えによる影響が見込まれることから、整備は建替事業の具体的な方針が決定した後に進めるべきではないか。



6月12日に建設厚生常任委員会、6月15日に総務文教振興常任委員会を開催し、一般会計補正予算含む11議案の審査をおこない、定例会最終日に各委員長から報告。

一般会計については、補正予算案として、当初予算から歳入歳出それぞれ2億2,873万円増額となり、総額が歳入歳出それぞれ約65億4,232万円となった。

建設厚生常任委員会

審査・調査対象の課：健康福祉課・子育て支援課・土木課・建築課・町立病院
委員長：竹田 副委員長：松瀬
委員：谷口・白銀・仲島・森下

(専決処分) 糸田町国民健康保険税条例の 一部を改正する条例

健康福祉課

説明 国の施策および法律の改正により、条例の一部を改正するもの。

主な改正内容

①子ども・子育て支援金課税額の追加

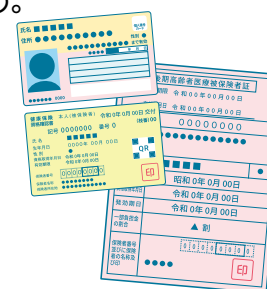
子育て施策の拡充の財源として新たに創設された「子ども・子育て支援金制度」に対応するため、国民健康保険税の課税額に関する規定を整備。18歳以上の被保険者が対象で、賦課限度額は3万円となる。

※子ども・子育て支援金とは…

少子化対策や子育て支援の充実に必要な財源を確保するため、医療保険制度を通じて負担する仕組みとして創設されたもの。

②高所得世帯の国保税の負担上限額を引上げ

国民健康保険税の医療分について、所得が高い世帯に適用される課税上限額を66万円から67万円に引き上げた。



敬老会に係る経費 約274万円

健康福祉課

説明 今年度開催される敬老会の演者への謝礼金や対象者へのお祝い品等に係る費用。

今年は社会教育団体や近畿大学附属福岡高等学校吹奏楽部が演芸として出演予定。



障害福祉システム改修委託料 約221万円

健康福祉課

三公費医療 オンラインシステム改修委託料 約304万円

説明 国の医療DX推進の一環として、医療費助成のオンライン資格確認に対応するための改修費用。

※三公費とは…

乳幼児医療、重度心身障害者医療、ひとり親家庭医療等について、自治体が医療費の一部を助成する制度。



工事請負締結(五反田線道路改良工事) 土木課

説明 五反田線(中学校～町民会館前の道路)の道路改良工事の施工業者を決定するため一般競争入札を実施した。予定価格が5,000万円以上の工事請負契約については、条例に基づき議会の議決が必要となる。



請負金額：73,220,400円(税込)

落札業者：(有)翔陽建設

反対意見 当該事業者は議員本人としての実質的な経営への関与について、地域や職員、関係者等の間で広く認識されている実態があり、議会として公正性および適法性の観点から、議員として襟を正す必要があるため、承認すべきではない。委員会では賛成少数により不承認となった。

議案第33号 令和8年度糸田町一般会計補正予算				
討論一覧(要約文)				
反対討論（木下） 職員給与など町の運営に必要な経費には異論はないが、町立病院建設に伴う戸石グランド整備事業には反対する。 約2億4,000万円を投じる事業であるにも関わらず、その必要性や優先順位について町民が納得できる説明は十分とは言えず、事業の妥当性は慎重に検討すべきである。また、限られた財源は、熱中症対策やこどもたちへの支援など、町民生活に直結する施策を優先すべきである。 さらに、病院建設の将来的な見通しが明確でない中で、関連事業だけを先行して進めることには疑問がある。町民の税金を投入する以上、一度立ち止まって事業全体を見直すことも政治の責任であると考え、将来世代への負担を考慮し、本議案に反対する。 反対討論（森下） 本補正予算には、町立病院建て替えに関連する経費や戸石グランド改修工事費等が計上されているが、現段階での予算承認には慎重であるべきと考え、反対する。 実施設計が未完了であり、町長も基本計画の変更の可能性に言及している中で、計画の全体像が固まる前に関連予算を先行して承認することは時期尚早ではないか。また、建設費の高騰による将来の財政負担や、教育・福祉など他の重要施策への影響について十分な説明がなされていない。 さらに、町民グランドを建設地とした理由として土地取得費用が不要と説明されていた一方、代替地整備には多額の費用を要することから、土地選定の妥当性についても改めて検証すべきであるとする。以上の理由から、本補正予算には同意しかねる。				
賛成討論（小嶋） 本補正予算には農業費の補助金が計上されており、資材価格や燃料費の高騰が続く中、農業従事者の設備整備や営農環境の向上を図るため、速やかな事業実施が必要である。予算執行が遅れれば、工事や設備導入の遅延により営農への影響も懸念される。 また、戸石グランド整備工事については、スポーツ振興くじ助成金や過疎対策事業債など有利な財源を活用でき、町の財政負担の軽減につながる事業である。財源には期限があることから、計画どおり事業を進めることが重要である。 以上の理由により、本補正予算は農業振興とスポーツ環境の整備、さらには有利な財源の活用を図るものであり、町民の利益に資するものと判断し、賛成する。				
反対討論（山田） 質疑 ①病院建設の方向性が定まらない中で、附帯事業である戸石グランド整備工事を先行して実施する理由は。 ②病院建設の先行きが不透明な中、戸石グランド整備工事を先行して承認するのではなく、建設計画が明確になってから判断すべきではないか。 ③戸石グランドは施設管理を予定している一方、こどもの遊び場として活用するとの説明との整合性や、町民が日常的に利用できる運用方法は。 質疑 本事業は約2億4,000万円を要するものであり、現時点で整備を進めるのは時期尚早である。少なくとも9月定例会で改めて判断しても遅くはないと考える。 また、総務委員会では戸石グランドを野球・ソフトボールを主な利用目的として整備すると説明されたが、私がナイター設備の必要性を尋ねたところ、町長は「近隣自治体に立派なナイター設備があるので必要ない」と答弁した。それであれば、近隣自治体にはグラウンドも整備されており、野球やソフトボールは十分代替できることから、糸田町が新たにグラウンドを整備する必要性は乏しいと考える。 以上の理由により、本議案に反対する。 答弁（町長） 病院建設は現行計画どおり進める方針であり、補助金などの財源を活用するため、戸石グランド整備も並行して進める必要がある。 答弁（町長） 病院建設計画に変更はなく、戸石グランド整備は議会からのこどもの遊び場確保に関する意見も踏まえた施策であり、病院建設と併せて進める。 答弁（教務課長） 門扉を管理するため鍵を設けるが、全面を施設して利用を制限するものではなく、現在の町民グランドと同様に利用できる想定である。				

令和8年第2回糸田町議会臨時会（4月30日）			
議案結果	件名	結果	詳細
	財産の取得について(小・中学校学習用タブレット端末購入)	可決	全会一致
	契約変更請書の締結について(糸田町庁舎及び住民センター空調設備改修工事)	可決	致
令和8年第2回糸田町議会定例会（6月10日～6月18日）			
議案結果	件名	結果	詳細
	専決処分について(糸田町税条例の一部を改正する条例)	承認	全会一致
	専決処分について(糸田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	全会一致
	専決処分について(令和7年度糸田町一般会計補正予算)	承認	全会一致
	糸田町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決	全会一致
	糸田アリーナの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	全会一致
	令和8年度糸田町一般会計補正予算	可決	全会一致
	令和8年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	可決	全会一致
	令和8年度糸田町学校給食センター事業特別会計補正予算	可決	全会一致
	令和8年度糸田町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	全会一致
	糸田町農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
	糸田町農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
	糸田町農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
	糸田町農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
	糸田町農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
	糸田町農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
	糸田町農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
	糸田町農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
	糸田町農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
	工事請負契約の締結について	否決	全会一致
請願	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書採択の請願について	採択	全会一致
意見書	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書	可決	一致



※早麻議員は体調不良のため欠席

谷口	白銀	松瀬	早麻	仲島	竹田	山田	小嶋	森下	木下	中原	井手元
			欠								一

☐は賛成 ☐は反対

※議長に表決権はないため「－」としています。
可否同数の場合のみ裁決権を行使します。

※議長が議員として討論をおこなった場合は採決に加わねばなりません。
その際、副議長が議事進行をおこなうため、副議長に表決権はありません。

谷口	白銀	松瀬	早麻	仲島	竹田	山田	小嶋	森下	木下	中原	井手元
			欠	棄			－				

※「棄」…棄権
「棄権」は議場に出席していたものの、賛否の表決をおこなわなかったものです。

入札結果					
工事名	業者名	予定額(円)	最低制限価格(円) ※事前公表	金額(円)	落札率(%)
令和8年度社会資本総合整備事業 五反田線道路改良工事	(有)翔陽建設	74,792,000	66,564,000	66,564,000	88.99

※令和8年第2回定例会で否決 ※金額はすべて税抜きとなる

研修報告

県議会会理事県外行政視察 —令和8年5月20日・21日—	
★場所	兵庫県赤穂市
★参加議員	井手元(県議長会理事職のみ)
★研修内容	ひきこもり支援事業について
令和8年度 町村議会議長・副議長研修会 —令和8年5月26日—	
★場所	東京国際フォーラム
★参加議員	井手元、小嶋
★研修内容	○「地方創生の先行き 地域未来戦略とともに」 ○「人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践」 ○「男女共同参画で地域を元気に」 ○女性模擬議会の取り組み

議案第48号 工事請負契約の締結について(五反田線道路改良工事)	
討論一覧(要約文)	
反対討論（井手元） 道路整備の必要性は認めるものの、本議案については、一部議員が工事内容や事業決定に関与したのではないかと疑念が町民の間にあり、公平性や透明性の観点から町民の理解が十分に得られているとは言えない。 事実が確認されたわけではないが、公共事業は町民の税金で実施されるものであり、疑念を抱かれる状況は避けるべきである。まずは十分な説明と検証により疑念を払拭した上で判断すべきであり、現段階で本契約を承認することは適切ではないと考え、本議案に反対する。 反対討論（谷口） 私たち建設委員会は、既に意思表示をしている。山田議員はこの場で「反対なら手を挙げて反対と意思表示をしないか」と言われていたが、委員会において様々な事情を踏まえ反対であるとの意思表示をしている。それを改めて再三にわたり読み上げる必要はないと考える。	
賛成討論（山田） 建設委員会委員長報告でも確認したとおり、政治倫理条例に抵触している事実は確認されていない。条例違反があるのであれば、具体的な根拠に基づき議会として対処すべきであり、町民のうわさや憶測だけで契約の可否を判断するべきではない。 私が政治倫理条例に違反しているのであれば、この議案の審議や採決に参加すること自体が認められないはずである。また、反対討論で述べられた内容についても、まず事実確認が必要ではないか。 私は一従業員であり、経営者ではない。この契約について私にも執行部にも落ち度はないと考えるため、本議案に賛成する。 賛成討論（木下） 今回の入札や当該議員について、政治倫理条例に抵触する事実や客観的な根拠は示されておらず、憶測で議案を判断することはあってはならない。 本工事は糸田中学校前の通学路に関わるものであり、本来はこどもたちの安全確保や通学環境の改善について議論されるべきである。しかし、委員会では政治倫理条例の議論が先行し、工事の必要性が十分に議論されなかった。 こどもたちの安全を守るために必要な工事であることから、一日も早く実施すべきと考え、本議案に賛成する。	
動画で議論の詳細が視聴できるよ 糸田町のホームページ、もしくは右の二次元コードからアクセスしてね	

こんにちは♡いとだまちぎかいです!

小学校社会科見学(模擬議会)

5月13日に糸田小学校6年生が社会科見学の一環として、議場で模擬議会を実施。

児童たちは議員役と執行部役に分かれ、一般質問や答弁を体験しながら、議会の役割や町政の仕組みについて楽しく学びました。



本物の議場で議員と執行部の気分を体験したよ!

カメラやマイクも上手に操作していました!



▲議場の様子

☆皆さんとても明るく元気でした☆



▲6年1組



▲6年2組



▲6年3組



未来の町長・議員がいるかも?

これからも町に興味を持ってくれるとうれしいね!



どんな一般質問をしたの?



一般質問内容

- 学校給食について
- 学校の環境問題について
 - ・ごみ問題について
 - ・省エネについて

答弁は!



▲町長役

(学校給食について)

こどもたちの意見も取り入れながら、栄養、安全、そして楽しさのバランスを大切に、より良い給食づくりに努めてまいります!



▲副町長役

(学校の環境問題について)

地域との連携は大切です。清掃活動などを通じて、地域と協力した取り組みを検討してまいります!



▲教育長役

(学校給食について)

月に一度の新メニューについては、検討することは可能です。試験的に取り入れ、こどもたちの反応を見ながら進めてまいります!

議会広報
常任委員会

委員長 小嶋 康子
副委員長 森下 喬廣

委員 白銀 秀樹
委員 早麻 雄三

委員 仲島 誠一
委員 中原 詔蔵

議会だよりアンケート募集中!